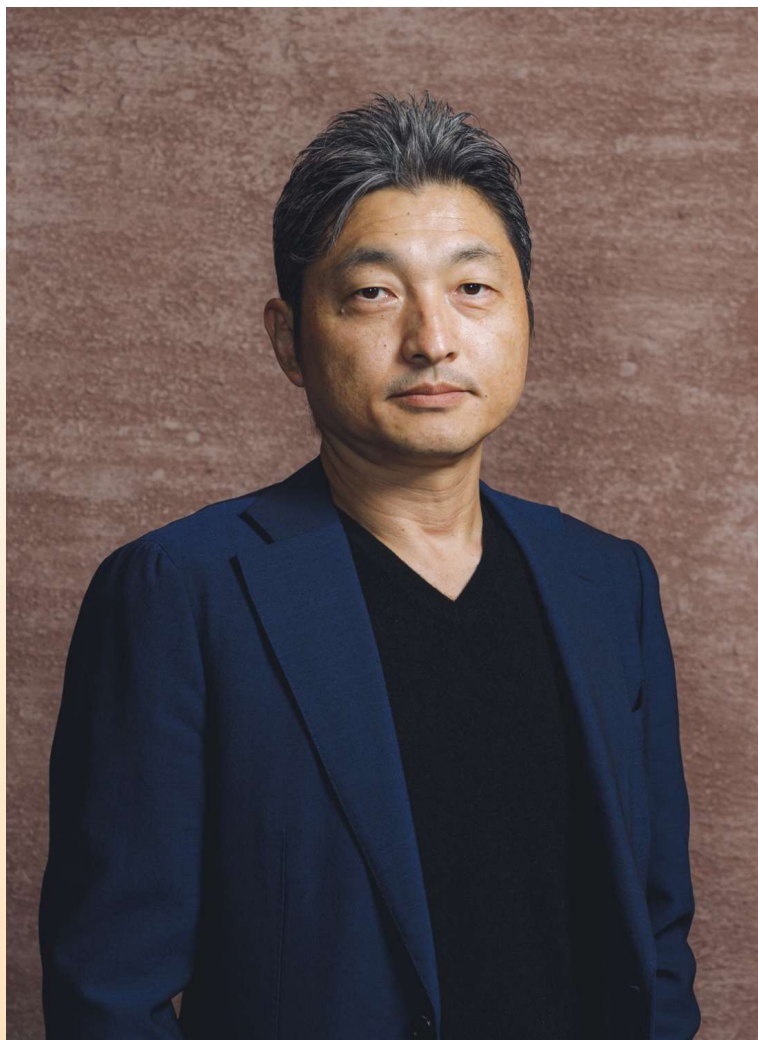


登壇者①



SPEAKER No.1

TAKESHI EBIHARA

蛸原 健 氏

リブライトパートナーズ株式会社 代表取締役

岩手県盛岡市出身。シンガポール在住。

東南アジアおよびインドのスタートアップ投資に特化したベンチャーキャピタルのリブライトパートナーズを2008年創業。

代表的な投資先にはインドネシア最大の上場を果たしたBukalapak（初回ラウンドにてリード単独投資）、フィリピンにおける最大のスタートアップM&A売却事例となったCoins.Ph（初回ラウンド共同リード）、さらにインドのユニコーン企業群等。

1994年に日本の大手VC/PEファームであるJAFCOにてキャリアをスタートさせた後、30年以上に渡りスタートアップ投資、経営に携わる。

SPEAKER No.2

HIROYUKI TAKAHASHI

高橋 博之 氏

株式会社雨風太陽 代表取締役社長

1974年、岩手県花巻市生まれ。青山学院大卒。

代議士秘書等を経て、2006年岩手県議会議員に初当選。

翌年の選挙では2期連続のトップ当選。

震災後、復興の最前線に立つため岩手県知事選に出馬するも次点で落選、政界引退。

2013年NPO法人東北開墾を立ち上げ、地方の生産者と都市の消費者をつなぐ、世界初の食べもの付き情報誌「東北食べる通信」を創刊し、編集長に就任。

2015年当社設立、代表取締役に就任。

2023年12月、日本で初めてNPOとして創業した企業が上場を実現するインパクトIPOとして、東京証券取引所グロース市場へ株式を上場。

2024年11月には、内閣官房 新しい地方経済・生活環境創生本部が開催する「新しい地方経済・生活環境創生会議」の有識者構成員に、2025年6月には一般社団法人日本ファームステイ協会理事に就任。

登壇者②



登壇者③



SPEAKER No.3

FUMITO MATSUDA

松田 文登 氏

株式会社ヘラルボニー 代表取締役Co-CEO

ゼネコンにて、被災地の再建に従事、その後、双子の松田崇弥と共にヘラルボニーを設立。

4歳上の兄・翔太が小学校時代に記していた謎の言葉「ヘラルボニー」を社名に、福祉を起点に新たな文化の創造に挑む。

ヘラルボニーの国内事業、主に岩手での事業を統括。岩手在住。双子の兄。

Forbes JAPAN「CULTURE-PRENEURS 30」選出、第75回芸術選奨（芸術振興部門）文部科学大臣新人賞受賞。

著書「異彩を、放て。―「ヘラルボニー」が福祉×アートで世界を変える―」。

SPEAKER No.4

YUKINORI SHITAUTSUBO

下苧坪 之典 氏

株式会社北三陸ファクトリー 代表取締役CEO

1980年岩手県生まれ。

2018年に同社を創業し、磯焼けで身入りの悪いウニを独自技術で高品質化する「再生養殖技術」を北海道大学らと産官学確立。

2025年Forbes JAPAN「食の未来を輝かせる25人」に選出される。

2026年岩手県洋野町に、ウニ陸上養殖施設「UNIVERSE Site™ Hirono」を稼働。

日豪を拠点に、環境保全と産業発展を両立する「ブルーエコノミー」の旗手として、世界規模でのウニ供給網の構築と海の再生を牽引している。



共催：インシグニア・ベンチャーズ・パートナーズ



登壇者

タン・インラン 氏

創業者兼代表者



モデレーター

チュン・アレン 氏

戦略開発・オペレーション担当副代表

8月上旬より参加申込み開始予定

その他の登壇者も現在調整中
決定次第、順次発表いたします